

平成30年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年10月12日

上場会社名 クックビズ株式会社 上場取引所 東

コード番号 6558 URL http://cookbiz.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)藪ノ 賢次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O (氏名) 岡本 哲郎 T E L 06-7777-2133

四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無:有 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第3四半期の業績(平成29年12月1日~平成30年8月31日)

(1)経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	1, 791	21.0	45	△73. 9	49	△73.0	15	△86.9
29年11月期第3四半期	1, 480	_	173	_	182	_	116	_

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円銭
30年11月期第3四半期	7. 06	6. 68
29年11月期第3四半期	64. 43	_

- (注) 1.当社は、平成28年11月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年11月期第3 四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。
 - 2. 平成29年11月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第3四半期	1, 505	1, 093	72. 7
29年11月期	1, 465	947	64. 7

(参考) 自己資本 30年11月期第3四半期 1,093百万円 29年11月期 947百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
29年11月期	_	_	_	0.00	0.00			
30年11月期	_	0.00	_					
30年11月期(予想)				_	_			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、平成30年11月期につきましては、現時点で期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年11月期の業績予想(平成29年12月1日~平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2, 636	27. 5	114	△57. 2	114	△56.8	73	△57. 1	33. 87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年11月期3Q	2, 176, 341株	29年11月期	2, 112, 941株
30年11月期3Q	一株	29年11月期	一株
30年11月期3Q	2, 170, 325株	29年11月期3Q	1, 809, 583株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

クックビズ株式会社(6558) 平成30年11月期 第3四半期決算短信

○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	3
	(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四当	半期財務諸表及び主な注記	4
	(1)	四半期貸借対照表	4
	(2)	四半期損益計算書	5
		第3四半期累計期間 ·····	5
	(3)	四半期財務諸表に関する注記事項	6
		(継続企業の前提に関する注記)	6
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
		(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続いており、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、諸外国間の貿易問題や近隣諸国との地政学リスクの高まりなど不安定な国際情勢の影響により、海外景気動向の減速懸念が台頭しており、日本経済の先行きは不透明な状況が続いております。国内の雇用情勢につきましては、厚生労働省が平成30年8月31日に発表した平成30年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.63倍と高い水準を維持しております。

また、当社の事業領域である飲食業における雇用情勢においては、平成30年7月の「飲食物調理の職業」の有効求人倍率(常用(含むパート))は3.21倍で、「接客・給仕の職業」では3.93倍と全業種における有効求人倍率を大きく上回って慢性的な人手不足となっており、飲食業界における人材の採用意欲は引き続き高い水準にあります。

このような景況感のもと、人手不足が続く飲食分野の人材サービス事業(人材紹介事業・求人広告事業)では、 拡大する企業の採用ニーズを、職種形態毎に細分化し、これを多くの求職者に人材紹介サービスや求人情報サイト を通して情報を提供し、企業と求職者に出会いの機会を提供いたしました。

また、既存サービスの強化に加え、新たな注力分野である研修事業における顧客開拓やサービス開発の推進等により、顧客企業の人材採用支援にとどまらない人事労務における課題解決をサポートしていくことで、他社との差別化や顧客満足度の向上に取り組みました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,791,155千円(前年同四半期比21.0%増)、営業利益は45,190千円(前年同四半期比73.9%減)、経常利益は49,437千円(前年同四半期比73.0%減)、四半期純利益は15,317千円(前年同四半期比86.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①人材紹介事業

人材紹介事業におきましては、「cook+biz」(※)サイトへご登録いただいた転職を希望される方へ、転職先を紹介する事業を運営しております。

当第3四半期累計期間におきましては、営業力強化に向けて、大阪本社の増床及び東京並びに名古屋拠点の増床移転を行うとともに、福岡市に拠点を新規に開設いたしました。また、事業における適正な人員配置を行うなど生産性向上に向けて取り組むとともに、求人企業と求職者のマッチング率向上に向けた求人企業の開拓や登録者の増加施策としてWebマーケティングの強化など、様々な取り組みを実施しております。

その結果、当セグメントにおける売上高は1,180,935千円(前年同四半期比21.5%増)、セグメント利益は147,692千円(前年同四半期比30.7%減)となりました。

②求人広告事業

求人広告事業におきましては、求人広告サイトである「cook+biz」の事業を運営しております。

当第3四半期累計期間におきましては、引き続き事業基盤強化に向けて人員の採用を推し進めるとともに、教育専任者を配置し研修体制の充実を図ることや商品ラインナップの強化を図ることにより、営業力の強化に努めてまいりました。

その結果、当セグメントにおける売上高は596,935千円(前年同四半期比20.4%増)、セグメント利益は83,269 千円(前年同四半期比31.1%増)となりました。

③その他事業

その他事業におきましては、平成28年12月より飲食業界で働く人に向けた研修事業である「クックビズフードカレッジ」事業を展開しております。「フード産業を人気業種にする」という当社のビジョンを達成するためには、飲食業界で働かれている方に研修を通じて成長を促すことで、個人のキャリア形成の確立や組織の成長に通じ、これが業界全体の底上げに繋がり、ひいては人気業種にする事に繋がると考えております。当事業は、事業基盤強化に向けて人員の採用を推し進めるとともに、人材紹介事業及び求人広告事業とのクロスセルにより、認知度向上とともに売上拡大に努めてまいりました。

また、同じくその他事業として、平成28年4月より料理人・シェフを中心にしたソーシャル・ネットワーキング・サービスである「Foodion」を展開しております。現時点においては、当該サービスにかかるユーザビリティの向上やユーザー拡大を推進しており、特段の収益化は実施しておりません。

その結果、当セグメントにおける売上高は13,284千円(前年同四半期比8.9%増)、セグメント損失は54,111千円(前年同四半期は10,802千円の損失)となりました。

※ cook+biz:弊社は人材紹介事業及び求人広告事業ともに「cook+biz」の同一ブランドにて展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ40,506千円増加し、1,505,777千円となりました。その主な要因は、売掛金が23,662千円、未収還付法人税等が29,766千円、前払費用が22,828千円、建物が71,312千円、ソフトウエアが21,685千円、敷金が77,060千円増加したものの、現金及び預金が197,761千円減少したためであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ106,048千円減少し、411,810千円となりました。その主な要因は、未払費用が26,350千円、預り金が11,965千円、資産除去債務が31,630千円、繰延税金負債が10,087千円増加したものの、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が86,912千円、未払消費税等が47,165千円減少したためであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ146,555千円増加し、1,093,967千円となりました。その主な要因は、増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ65,619千円増加したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成30年1月12日の「平成29年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

		(単位:千円)
	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 131, 166	933, 405
売掛金	152, 348	176, 011
未収入金	929	17'
未収還付法人税等	_	29, 76
短期貸付金	450	500
前払費用	33, 660	56, 489
繰延税金資産	22, 701	15, 91
貸倒引当金	△1, 705	$\triangle 2, 49$
流動資産合計	1, 339, 551	1, 209, 77
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	43, 046	114, 35
工具、器具及び備品(純額)	3, 568	9, 510
有形固定資産合計	46, 614	123, 87
無形固定資産		
ソフトウエア	19, 725	41, 41
ソフトウエア仮勘定	5, 529	·
商標権	98	8
無形固定資産合計	25, 353	41, 49
投資その他の資産		,
敷金	53, 292	130, 35
長期前払費用	458	27
投資その他の資産合計	53,750	130, 63
固定資産合計	125, 719	296, 00
資産合計	1, 465, 271	1, 505, 77
負債の部	1, 100, 211	1,000,11
流動負債		
短期借入金	50, 000	
未払金	87, 576	88, 93
未払費用	71, 213	97, 56
未払法人税等	86, 912	31,00
未払消費税等	65, 518	18, 35
前受金	72, 732	69, 25
預り金	4, 282	16, 24
賞与引当金	35, 440	31, 29
返金引当金	9, 755	9, 35
資産除去債務	5, 844	0,00
流動負債合計	489, 274	331, 01
固定負債	100, 211	001, 01
資産除去債務	22, 620	60, 09
繰延税金負債	5, 963	16, 05
その他	-	4, 64
固定負債合計	28, 584	80, 79
負債合計		
	517, 859	411, 81
純資産の部 株主資本		
	272 240	420.00
資本金 ※ 大利会会	373, 349	438, 96
資本剰余金	366, 349	431, 96
利益剰余金	207, 712	223, 02
株主資本合計	947, 412	1, 093, 96
純資産合計	947, 412	1, 093, 96
負債純資産合計	1, 465, 271	1, 505, 77

(2)四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

		(単位・1円)
	前第3四半期累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)
売上高	1, 480, 385	1, 791, 155
売上原価	27, 956	29, 841
売上総利益	1, 452, 429	1, 761, 314
販売費及び一般管理費	1, 279, 334	1, 716, 124
営業利益	173, 095	45, 190
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	11
助成金収入	4, 910	-
サービス利用権失効益	5, 892	3, 494
その他	2, 131	1, 244
営業外収益合計	12, 939	4, 750
営業外費用		
支払利息	463	62
上場関連費用	2, 497	104
株式交付費	-	262
その他	117	73
営業外費用合計	3, 078	503
経常利益	182, 956	49, 437
特別損失		
固定資産除却損		7, 026
特別損失合計		7, 026
税引前四半期純利益	182, 956	42, 410
法人税、住民税及び事業税	57, 986	10, 222
法人税等調整額	8, 374	16, 871
法人税等合計	66, 360	27, 093
四半期純利益	116, 595	15, 317

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月27日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式発行63,400株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ65,619千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が438,968千円、資本剰余金が431,968千円となっております。

(セグメント情報)

- I 前第3四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		合計			
	人材紹介事業	求人広告事業	その他事業	計	百亩
売上高					
外部顧客への売上高	972, 335	495, 847	12, 203	1, 480, 385	1, 480, 385
セグメント間の内部売上高又 は振替高	_	_	_	_	_
計	972, 335	495, 847	12, 203	1, 480, 385	1, 480, 385
セグメント利益又は損失(△)	212, 997	63, 521	△10, 802	265, 716	265, 716

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	265, 716
セグメント間取引消去	_
全社費用 (注)	△92, 620
四半期損益計算書の営業利益	173, 095

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

クックビズ株式会社(6558) 平成30年11月期 第3四半期決算短信

- Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		∧ ⇒1				
	人材紹介事業	求人広告事業	その他事業	計	合計	
売上高						
外部顧客への売上高	1, 180, 935	596, 935	13, 284	1, 791, 155	1, 791, 155	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_	_	
計	1, 180, 935	596, 935	13, 284	1, 791, 155	1, 791, 155	
セグメント利益又は損失(△)	147, 692	83, 269	△54, 111	176, 850	176, 850	

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	176, 850
セグメント間取引消去	_
全社費用 (注)	\triangle 131, 660
四半期損益計算書の営業利益	45, 190

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。